

第 134 回 地区内中小企業 景気動向調査結果

(2022 年 4 月 ~ 6 月実績)

(2022 年 7 月 ~ 9 月予想)

***** 目 次 *****

地区内データベース	1
全国 ・ 全道の概況	4
調査の概要	5
全業種総合	6
製造業	9
建設業	11
卸売業	13
小売業	15
サービス業	17
特別調査	19

地区内データベース

1. 人口・世帯数動向（令和4年6月末）

町 村 名	人 口			世 帯 数		
	人 数	前年同月比	3 月 末 比	世 帯 数	前年同月比	3 月 末 比
平 取 町	4,645	-77	44	2,430	-25	45
日 高 町	11,054	-167	88	5,989	-8	87
新 冠 町	5,209	-81	31	2,773	16	35
新ひだか町	21,193	-322	122	11,485	-16	144
浦 河 町	11,709	-114	80	6,698	73	123
様 似 町	4,043	-60	-2	2,113	-27	9
え り も 町	4,351	-113	22	2,083	-28	38
広 尾 町	6,283	-133	33	3,246	-16	52
大 樹 町	5,433	3	34	2,776	35	21
日高・十勝地区合計	73,920	-1,064	452	39,593	4	554
札 幌 市	1,962,389	-485	3,695	1,095,981	9,000	6,179
江 別 市	119,378	-340	242	59,366	372	454
石 狩 市	57,949	-194	-30	28,306	19	75
北 広 島 市	57,565	-329	-1	28,178	112	87
恵 庭 市	70,255	197	222	34,769	424	200
千 歳 市	97,469	-50	417	51,130	270	414
石狩地区合計	2,365,005	-1,201	4,545	1,297,730	10,197	7,409
苫 小 牧 市	168,857	-943	-136	90,941	427	298
厚 真 町	4,396	-20	12	2,134	13	13
む か わ 町	7,593	-108	61	4,089	6	100
胆振地区合計	180,846	-1,071	-63	97,164	446	411
営業区域合計	2,619,771	-3,336	4,934	1,434,487	10,647	8,374

*日高町の人口に外国人登録者数は含まれていません

(資料出所：各市町村)

2. 企業倒産状況（令和4年4～令和4年6月中）

単位：件・百万円	件 数	負 債 金 額	件数前年同期比	金額前年同期比
苫 小 牧 管 内	1	90	-3	-1,843
(内・新冠町～えりも町)	0	0	-3	-1,013
業種および件数				
地区および件数				
北 海 道	59	12,661	26	9,702
全 国	1,556	1,401,216	66	1,079,888

(資料出所：東京商工リサーチ)

3. 労働需給状況

令和4年4月

	浦河 (人・倍)	全道 (人・倍)	前年同月比(%・ポイント)		前月比(%・ポイント)	
			浦河	全道	浦河	全道
月間有効求人数	1,057	91,907	14.02	10.29	-7.93	2.40
月間有効求職者数	683	92,225	0.29	0.31	4.59	5.83
月間有効求人倍率	1.55	1.00	0.19	0.09	-0.21	-0.03

令和4年5月

月間有効求人数	1,065	91,826	18.73	12.38	0.76	-0.09
月間有効求職者数	677	91,724	7.12	4.27	-0.88	-0.54
月間有効求人倍率	1.57	1.00	0.15	0.07	0.02	0.00

令和4年6月

月間有効求人数						
月間有効求職者数						
月間有効求人倍率						

(資料出所：厚生労働省 北海道労働局)

4. 浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金・貸出金残高 (令和4年6月末現在)

単位：百万円・%

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	貸 出 金	前年同月比	前 月 比
176,426	1.05	1.01	57,956	1.01	0.99

(資料出所：浦河・静内金融協会)

5. 浦河町・新ひだか町静内 手形交換高

令和4年4月

	当 月	前年同月比 (%)	前月比 (%)
交 換 枚 数 (枚)	107	-44.27	-37.43
交 換 金 額 (百万円)	157	-49.35	-50.47
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和4年5月

交 換 枚 数 (枚)	218	23.16	103.74
交 換 金 額 (百万円)	391	64.29	149.04
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和4年6月

交 換 枚 数 (枚)	179	-4.79	-17.89
交 換 金 額 (百万円)	294	-20.75	-24.81
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

(資料出所：浦河・静内金融協会)

6. 建築確認申請

単位：件数

		件 数	前年同期比	前四半期比
当金庫管内	4/4～4/6月迄の累計	23	-16	5
(新ひだか町～広尾町)	4/4～4/6月迄の累計	23	-52	

(資料出所：各町村)

7. 気象情報

令和4年4月中

	本 年			平年偏差・平年比		
	気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間	気温 (℃)	降水量 (%)	日照時間 (%)
浦 河	6.8	2.5	246.4	1.6	3.2	131.1
広 尾	7.3	13.0	246.5	2.1	11.7	135.6

令和4年5月中

浦 河	10.8	115.0	224.6	1.1	91.8	120.0
広 尾	10.9	142.5	200.0	1.1	87.7	115.5

令和4年6月中

浦 河	14.1	272.5	138.6	0.6	284.2	95.6
広 尾	14.4	220.0	107.2	1.7	147.5	84.6

(資料出所：国土交通省 気象庁)

全 国 ・ 全 道 の 概 況

信金中央金庫がまとめた全国信用金庫の窓口から見た中小企業の景況によると、2022年4～6月期（今期）の業況判断D. I. は△19.9、前期比7.7ポイント改善と、2四半期ぶりに改善した。収益面では、前年同期比売上額判断D. I. がプラス0.8と前期比13.6ポイント改善、同収益判断D. I. は△11.8と同8.6ポイント改善した。販売価格判断D. I. はプラス23.5と前期比11.0ポイントの急上昇となった。人手過不足判断D. I. は△19.8と人手不足感はやや強まった。設備投資実施企業割合は19.5%と前期比で小幅上昇した。業種別の業況判断D. I. は全6業種中、建設業を除く5業種で、また、地域別では全11地域で、それぞれ改善した。2022年7～9月期（来期）の予想業況判断D. I. は△18.9、今期実績比1.0ポイントの小幅改善を見込んでいる。業種別には全6業種中、不動産業と卸売業を除く4業種で、地域別には全11地域中7地域で、それぞれ改善見通しにある。

日本銀行札幌支店が7月1日発表した北海道金融経済概況によると、北海道の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられているものの、緩やかに持ち直してる。すなわち、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられているものの、緩やかに持ち直している。観光は、引き続き厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している。設備投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、高水準ながら弱めの動きとなっている。住宅投資は、減少している。生産は、横ばい圏内の動きとなっている。輸出は、持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

需要項目別動向

- 公共投資・・・高水準ながら弱めの動きとなっている。公共工事請負金額は、高水準ながら、このところ弱めの動きとなっている。
- 輸出・・・持ち直している。主要品目別にみると、食料品では、高水準で推移している。輸送用機器等では、緩やかに持ち直している。
- 設備投資・・・緩やかに持ち直している。6月短観（北海道地区）における2022年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。
- 個人消費・・・新型コロナウイルス感染症の影響がみられているものの、緩やかに持ち直している。百貨店、サービス消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられているものの、緩やかに持ち直している。スーパー、ドラッグストアは、底堅い動きとなっている。コンビニエンスストアは、持ち直している。家電販売は、緩やかに持ち直している。乗用車販売は、供給制約の影響から、減少している。
- 観光・・・引き続き厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している。
- 住宅投資・・・減少している。新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家は、減少している。分譲は、持ち直している。
- 生産（鉱工業生産）・・・横ばい圏内の動きとなっている。主要業種別にみると、食料品では、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直しつつある。輸送機械、電気機械では、横ばい圏内の動きとなっている。紙・パルプでは、下げ止まりつつある。
- 雇用・所得・・・労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。
- 物価・・・消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。
- 企業倒産・・・低水準で推移している。